

専門教育科目

演習科目

授業科目名	自由が丘とブランディング	科目コード	配当年次	単位
担当教員	岡田 一弥・西村 康樹	HH08	1	2
科目の概要				
<p>自由が丘という街は、東京都の中では最も神奈川県寄りであり、また行政的には目黒区・世田谷区・大田区の区境に位置しており、決して恵まれた立地ではなかった。昭和の初めごろには農家が60戸程度というこの地域がなぜ、日本でも有数のオシャレな街となったのか。そこには、地元商店街やコミュニティの積極的な挑戦、徹底した広報戦略という継続的な努力だけではなく、地域の特性や文化を最大限に生かしたブランディング能力があった。この科目では、その街づくりの中心となった自由が丘商店街振興組合の取り組みを通じて地域マネジメントの重要性を学んでいく。</p>				
科目の到達目標				
<p>①自由が丘商店街振興組合の取り組みと、この地域の発展を理解することで、各自の関連するコミュニティを発展させるヒントをつかむことができる。</p> <p>②自由が丘商店街振興組合の理事長を長く務めてきた岡田一弥氏の活動を理解することで、地域社会におけるリーダー像を学ぶことができる。</p>				
テキスト	『「自由が丘」ブランド～自由が丘商店街の挑戦史～』岡田 一弥 他, 産業能率大学出版部, 2016年			
テキストの読み方				
<p>①内容については、街づくりのハード面だけではなく、文化的視点や地域発展の中心となるコミュニティにおける組織論にもふれており、トータルした街づくりを理解するのに最適な指針となっている。</p> <p>②テキストに書かれていることを理解するのはもちろん、それを各自が所属するコミュニティや地域に置き換えて解釈し、今後の自分の行動変革を考えながら読むことが求められる。</p>				
単位修得の方法				
<p>①レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。</p> <p>または、</p> <p>②スクーリングを受講し、合格すれば2単位を修得できる。この場合、レポート課題の提出と科目修得試験の受験は不要。</p>				